

系統 系統別殺菌剤の分類(参考資料) ※FRACコードは、主に該当するコードです。

銅剤 M1

- ・広範囲の病害に効果を示します。
- ・耐性菌の出現しにくい剤です。
- ・銅剤は「無機銅と有機銅」があります。
- ・主に予防剤です。  
Zボルドー水和剤・ドイツボルドーA  
ヨネポン水和剤

有機塩素系剤 M5

- ・広範囲の病害に効果を示します。
- ・登録作物も非常に多くあります。
- ・混合剤が多いので「含む総使用回数」に注意が必要です。  
ダコニール1000  
プロポーズ顆粒水和剤(混合剤)  
アミスターオプティフロブル(混合剤)

ベンゾイミダゾール系剤 1

- ・広範囲の病害に効果を示します。
- ・登録作物も非常に多くあります。
- ・耐性菌の発生地域では効果が期待できません。  
トップジンM水和剤・ベンレート水和剤

ジカルボキシリミド系剤 2

- ・特に「灰色かび病・菌核病等」に効果が高い剤です。
- ・浸透移行性が高く耐雨性に優れます。
- ・予防～治療的に使用できます。
- ・耐性菌の発生地域では効果が期待できません。

無機殺菌系剤 NC

- ・主に「うどんこ病」に使われます。
- ・JASが定める「有機農産物生産」に使用可能で(農薬散布回数に「カウント」されません。)
- ・治療(治病)効果があります。  
ジーファイン水和剤・カリグリーン  
ハーモメイト水溶剤

合成抗殺菌剤系 31

- ・細菌性病害に効果があります。
- ・抗生物質と違い、予防的に使用できます。
- ・耐性菌に対し有効です。  
スターナ水和剤

微生物農薬 44

- ・野菜類での登録があります。
- ・JASが定める「有機農産物生産」に使用可能で(農薬散布回数に「カウント」されません。)
- ・糸状菌ですが、病原菌(ボトリチス等)とは違います。  
ボトキラー水和剤・エコショット

有機硫黄系剤 M3

- ・広範囲の病害に効果を示します。
- ・主に予防剤です。
- ・銅剤の近接散布(7日以上あける)は薬害の恐れがあります。  
ジマンダイセン・アントラコール・キヒゲンR-2

QO I 系剤 11

- ・広範囲の病害に効果を示します。
- ・浸透移行性に優れます。
- ・予防、治療効果があります。
- ・耐性菌出現回避の為に、ローテーション散布をおすすめします。
- ・浸透性の展着剤を使用しますと「薬害」を助長します。  
ストロビーフロブル・アミスター20フロアブル  
メジャーフロアブル・ファンタジスタ顆粒水和剤

DMI 系剤 4

- ・主にうどんこ病に使用されます。
- ・予防～治療的に使用できます。
- ・浸透移行性が高く耐雨性に優れます。  
テーク水和剤(混合剤)・サブロール乳剤  
サブロール乳剤 パンチョTF顆粒(混合剤)

抗生物質系剤 24.25.41

- ・剤の性質上「残効」は期待できません。
- ・バクテリア系の病害に対し高い効果があります。
- ・性質上、紫外線分解を受けやすく、残効は期待できません。
- ・主に、治療的に使用します。  
アグリマイシン・アグレプト・カスミンボルドー(混合剤)

その他

- ・シアノイミダゾール 21 → ランマンフロアブル
- ・ポリオキシシン 19 → ポリオキシシンAL
- ・カルボン酸アミド 40 → フェスティバル
- ・メタラキシル 4 → リドミル
- ・トラフェンピラド 39 → ハチハチ
- ・抵抗性誘導剤 P → オリゼメート
- ・ホセチル 33 → アリエッティ水和剤
- ・AH殺菌剤 14 → リゾレックス
- ・AP殺菌剤 9 → フルピカ

ポリオキシシンは「阿蘇山の土」の・・・  
カスミンは「春日大社の裏山の土」の・・・  
微生物が産出する活性成分を培養し製造された「天然由来」の農薬です。

\*作物登録内容を再度ご確認ください。  
\*分類・商品名等は、一部抜粋です。  
ご承知おきください。